学校番号	410

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「Ｊｏｙ　ｏｆ　Ｍｕｓｉｃ」　（教育芸術社版）						
副教材等	不使用						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽を構成する諸要素を正しく捉え、音楽性豊かな表現するための基礎能力を養う。
・学習の到達度は、授業で配付する進路表や実技テストで評価します。
・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	・歌唱することに喜びを感じ、適切な発声に努めることに主体的に取り組んでいる。 ・楽器の音色や奏法に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	・楽譜を見て音程・リズム・テンポ・表情を把握し、しっかりとした発声でより楽しく歌唱する表現の工夫をしている。 ・楽曲の雰囲気を感受しながら表現意図を持って演奏する工夫をしている。	・しっかりとした発声と、楽譜に書かれている情報を把握し表現する技能を身に付けている。 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 進路表	観察 進路表	演奏の聴取 提出課題	観察 進路表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	歌唱	・宇宙戦艦ヤマト(アカペラ4部) ・桜の栞 ・たいせつなもの(3重唱) ・明日という日が(3重唱)	○	○	○		a:歌う学習に主体的に取り組んでいる。 b:表現意図を持っている。 c:伝えるための歌唱技能を身に付けている。	観察 進路表 演奏の聴取
	器楽	リコーダー ・戦争のパヴァーヌ(4重奏) ギター ・オブラディ・オブラダ(5重奏)	○		○		a:ギター・リコーダー演奏に主体的に取り組んでいる。 c:正しい運指で演奏している。オブリガートの正確さを感じる。	観察 進路表 演奏の聴取
2	歌唱	・Ave Verum Corpus(混声4部合唱) ・Stand Alone(混声3部合唱)	○	○	○		a:歌う学習に主体的に取り組んでいる。 b:表現意図を持っている。 c:伝えるための歌唱技能を身に付けている。	観察 進路表 演奏の聴取
	器楽	リコーダー ・白鳥の踊り ・ギター　禁じられた遊び ミュージックベル ・星に願いを	○		○	○	a:ギター・リコーダー演奏に主体的に取り組んでいる。 c:各担当音符の長短の把握。各パートとの連携確認。 d：ハンドベルとの違いを聞き比べる。	観察 進路表 演奏の聴取 感想文および評価表の作成
3	歌唱・器楽	・オーソレミオ(独唱) リコーダー ・カノン(3重奏)	○		○		a:イタリア語の発音で正確に歌える。 c:多様なリズムを感じ、装飾音符の演奏に取り組む。	観察 進路表 演奏の聴取

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画　作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。